



加藤 元の



と暮らして
みませんか

29

猫を家族の一員として迎えることになったら、どのような猫を選ぶのが良いでしょうか。

猫には日本猫、シャム猫、ロシアン・ブルー、アメリカン・ショートヘアなどを代表とする短毛種と、ペルシャやヒマラヤンなどに代表される長毛種があり、一般的に短毛種は活動的で、長毛種はおっとりしているといわれています。しかし本質は耳、目、鼻が良く、いずれも敏捷で素晴らしいハンターです。

さて、どんな猫でも、猫を飼うということとは、十七 十八年間は家族の一員としてともに暮らしていくことになることを忘れてはな

健康な猫

目ヤニがなく、食欲も満点

りません。

ですから、飼うことになる猫は健康でなければなりませんし、家族と気が合わなければ困ります。いくら外見がよくても病気がちだったり、性質が悪かったりでは困るのです。

それでは健康な猫とはどんな猫かといいますと、目ヤニがなく、目は澄んでパツチリ。耳の中や鼻がきれいで、食欲満点。毛ツヤが良くきれいで、太り過ぎでもなく、逆にやせ過ぎて触ると骨に触れるようなこともない。体がしなやかで、おなか異常に膨らんでいない。お尻のまわりがきれい。口の中や舌は鮮やかな赤みのあるピンクで、歯も歯ぐきもきれい。こうした猫が、健康な猫といえます。

猫を飼うことによつて、人間も猫も楽しくやつていきたいものです。そのためには、平素のコミュニケーション・ション、人と猫とのつきあいが大切です。不用意な飼い方をすれば、猫も病気になるります。

また、飼い主と性格が合わなかったり、病気がちとなれば、お互いに楽しくやろうという目的が損なわれ、人間も猫も共に不幸になってしまいます。こうしたトラブルを避けるためにも、飼うまでに猫というものをよく知っておくことが大切です。

(ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長)

《産経新聞2004年10月24日掲載》